

診療所長 今月の二句

平成二十七年九月

三十度 とどかかず夏を 懐かしむ

真夏のあいだ、日々最高気温をチェックし、ため息をついていました。秋になっても、その癖が抜けず、日々チェックを続けていますが、三十度に達しないと、妙にこの夏が、懐かしく感じられます。勝手なものですね。

葉を通す 柔らかかき陽や 秋彼岸

自宅の仕事部屋の窓から、外を覗くと、今頃になって、三階近くまで蔓が延びたヘチマの葉に、秋の陽光があたっています。当然、私は、葉の裏側から見上げています。夏とは違い、なんだか柔らかい光ですね。